

# 令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	211	学校名	仙台市立八軒中学校	校長名	西海枝 恵
------	-----	-----	-----------	-----	-------

- 1 取組のタイトル, テーマ  
「広瀬川ふれあい活動」



- 2 取組の紹介

令和4年7月2日(土), 11月3日(木)に, 地域の方々と広瀬川ふれあい活動を行いました。本活動は, 広瀬川の河川敷において, 地域の方々で行う緑化活動です。7月の活動には, 本校の総合文化部が参加し, 精力的に緑化活動に取り組みました。猛暑の中, 生徒が主体となり, 互いにコミュニケーションを取りながら, 除草作業や土起こし, 肥料まき, 花植えを行いました。花で平和の象徴であるハトを描きました。

**猛暑の中でも丁寧に  
仕事に取り組みました。**



- 3 取組の成果

- 地域の方との触れ合いの中で, 生徒たちは「お疲れ様でした」「がんばったね」などの労いの言葉を掛けられ, 満足感を得ることができました。
- 生徒同士が力を合わせて活動し, 花を植える際のレイアウトを工夫することで, 協力する態度や創作力を育むことができました。
- 花を植える活動を通して, 生命を尊重する心を育むことができました。

# 令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	212	学校名	仙台市立南小泉中学校	校長名	高橋 綾子
------	-----	-----	------------	-----	-------

## 1 取組のタイトル

「生徒会活動を中心としたボランティア活動」及び「新しい生活様式における清掃活動」



## 2 取組の紹介

### (1) 地域と共に歩む学校づくり「宮城の萩大通り美化推進キャンペーン」

宮城の萩大通りは、「ごみの散乱のない快適なまちづくり推進地区」に指定されています。例年、南小泉中学校では、春と秋に年2回行われている「宮城の萩大通り美化推進キャンペーン」に参加しており、朝早くから地域の方々と、宮城の萩大通りの清掃活動を行ってきました。

前年度に続き、今年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、キャンペーンは中止になりました。しかし、この清掃活動を続けてきた結果、宮城の萩大通りは、ほとんどごみの落ちていない、きれいな通りになっています。たとえごみが少なくても、継続して活動してきたことで、周囲への啓発や活動する私たち自身の環境に対する意識の変容につながったからだと思います。また、地域での継続した清掃活動をとおして地域の方々との交流も深めることができます。

### (2) SDG s 委員会 (旧環境委員会) を中心とした「クリーンキャンペーン」及び「新しい生活様式での清掃活動」

南小泉中学校では、毎月1回程度、SDG s 委員会 (旧環境委員会) が中心となって、登校時に通学路周辺の清掃活動を行う「クリーンキャンペーン」を行ってきました。各学級の環境委員が学期の始めにポスターを掲示し、活動前日に呼び掛けを行うなど学校全体で取り組むことができるように進めてきました。「クリーンキャンペーン」の当日は、委員が昇降口でゴミの収集と分別をしたり、通学路に出てゴミ拾いの呼び掛けを行ったり、「クリーンキャンペーン」は全校生徒に浸透した毎月恒例の取組となっています。しかし、今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「クリーンキャンペーン」は中止としました。また、校内の清掃活動において、新型コロナウイルス感染拡大防止に対応した、次のような新しい生活様式で清掃活動を行いました。



SDG s 委員会掲示物

#### ① 清掃時間の短縮及び清掃箇所の省略

時間と場所を精選することにより、ごみが出るから清掃を行うのではなく「普段からごみを出さないような生活を心掛ける」というように、少しずつ環境に対する意識が変容しています。

#### ② 清掃道具の変更

今までは、床は雑巾で水拭きをしていました。新型コロナウイルス感染拡大防止、及び衛生的な校内環境を維持するために、現在はスポンジモップやフロアワイパーを活用しています。掃き清掃に加え同時に水拭き清掃と同じ効果が期待できる清掃道具に変更することで、衛生的かつ清掃時間の大幅な短縮につながっています。

## 3 取組の成果

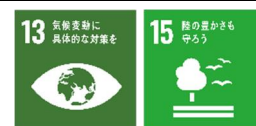
生徒の環境問題をはじめとするSDG s に対する意識が年々高くなってきています。SDG s に関する内容を授業などで取り上げることで、生徒たちの間で、他人事ではなく自分とのかかわりにおいて考えを深め、「もっと知りたい」、「SDG s を実践していきたい」という声が増えています。今後も、校内だけではなく地域の方々とともに持続可能な社会の実現のための取組を続けていきたいと思っています。

# 令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	213	学校名	仙台市立長町中学校	校長名	本木 一昭
------	-----	-----	-----------	-----	-------

## 1 取組のタイトル, テーマ

「進んで学校や地域に貢献しようとする意欲や態度の育成」  
(長町中学校教育ビジョン2022 重点的な取組 SDGsとの関連)



## 2 取組の紹介

### (1) 「鹿野公園」の植栽活動 (鹿野町内会の皆様とともに)

6月23日と11月24日に、鹿野町内会の皆様とともに「鹿野公園」で植栽活動及び草刈り、遊具清掃を行いました。校内のボランティア・地域連携組織である『ともに！チーム長町プロジェクト』として任意で参加者を募り、学年の枠を超えて6月は50名超が参加しました。

6月は夏の花を植え、周囲の草を刈って利用者の方の憩いの場になるように多くの生徒が参加しました。また、遊具清掃では近隣子ども達が安心して利用できるよう、清掃及び消毒作業を行いました。

11月は学校行事の関係上1学年のみとなり、生徒20名ほどが参加しました。冬に強い花を植え、枯れた草を刈り、花壇も冬仕様に仕上げました。

長町中学校では、地域との連携を大切にしており、今後もこのような活動を進めていきます。



遊具清掃の様子



植栽活動の様子

### (2) 緑化委員会の校内緑化作業 (プランターへの植栽)

長町中学校は、校舎解体工事に伴い、仮設校舎での生活を送っています。工事の関係上、校庭のみならず校地内は出入り禁止の区域が多く、例年のような緑化活動ができずに苦慮していました。

しかし、11月に各クラス1つのプランターを用意し、緑化委員会でパンジー、ビオラやノースポールといった冬に強い花を植え、比較的人通りが多い南側に設置しました。

仮設校舎の無機質な風景が続く中、長町中学校全クラス分である約30個のプランターが並び、その前を通る多くの人の目を癒やしています。



校舎周りに置かれた  
プランター



## 3 取組の成果 (児童生徒の変容)

新型コロナウイルス感染症の流行の波がある中、タイミング等も合致させながら活動を進めていくことは困難でしたが、できることを検討し、可能な範囲で実施することができました。多くの生徒が意欲的な態度で参加したことを町内会の皆様から感謝され、生徒達の自己有用感が高まる一助になったと感じています。

# 令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	214	学校名	仙台市立中田中学校	校長名	渡邊 哲也
------	-----	-----	-----------	-----	-------

## 1 取組のタイトル, テーマ

「SDG s を意識した野外活動と委員会活動

～緑化やゴミ拾いによる住み続けられるまちづくりを～」



## 2 取組の紹介

中田中学校では、2学年の野外活動でSDG s を意識した野外活動、委員会活動で緑化活動を実施しました。

委員会活動では、学校のみならず明るく住みやすい地域となるようにという目的の下、JRC 委員会が学校の緑化活動に取り組みました。さらに、その他のボランティア活動として、地域の清掃活動に取り組みました。

野外活動では、昨年の校外学習に引き続き、SDG s の17の目標のうち、「11 住み続けられるまちづくりを」を取り上げました。各クラスの生活班ごとに、野外活動の経験から持続可能な農業についての検討を行い、住み続けられるまちをつくるための、話し合い活動を行って来ました。その結果をプレゼンシートにまとめ、1学年の生徒に向けて発表を行いました。その中のアイディアの一例を示します。

- ・防災に力を入れて、訓練や設備に力を入れる。
- ・定期的にごみ拾いを行う。
- ・農業を広め、緑が多いまちにする。
- ・地産地消をし、フードロスを減らす。
- ・農業の魅力伝え、若者の雇用を増やす。
- ・農業を活性化させて、食糧自給率を上げる。

ここでは、環境に関わるアイディアについて報告します。

〈プレゼンシートより〉

〈緑化活動〉

プレゼンシート①【課題1】

チーム名	たけだのはん								
課題は何ですか？	農業をする人が少ない								
どうしたら農業が発展するか？(付箋で記入)	<table border="1"> <tr> <td>農業を広める</td> <td>農業に自給をもつとを増やす</td> <td>地産地消をする</td> <td>若い人たちに興味を持ってもらう</td> <td>若い人に農業体験をさせる</td> <td>農業のいいところを色々な人に伝える</td> <td>それぞれの地域の特産品をアピールする</td> <td>最新技術の機械を奨励する</td> </tr> </table>	農業を広める	農業に自給をもつとを増やす	地産地消をする	若い人たちに興味を持ってもらう	若い人に農業体験をさせる	農業のいいところを色々な人に伝える	それぞれの地域の特産品をアピールする	最新技術の機械を奨励する
農業を広める	農業に自給をもつとを増やす	地産地消をする	若い人たちに興味を持ってもらう	若い人に農業体験をさせる	農業のいいところを色々な人に伝える	それぞれの地域の特産品をアピールする	最新技術の機械を奨励する		



〈発表会のようす〉



〈地域の清掃活動〉



## 3 取組の成果

「住み続けられるまちづくりを」のテーマにせまるため、自分たちが住む仙台市について、生徒は改めて考え、課題を設定することができました。身近な環境問題、エネルギー問題について校外学習の実地調査で仙台市の現状を知り、それを踏まえた上で改善点について自分の考えを発表している生徒も多く、発表会後の感想では、自分が今できることについて考えを深めている記述が見られました。

# 令和4年度 社の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	215	学校名	仙台市立六郷中学校	校長名	中村 晴美
------	-----	-----	-----------	-----	-------

## 1 取組のタイトル, テーマ



What can junior high school students do? ~ 中学生に何ができるのだろうか? ~

## 2 取組の紹介

第3学年の英語科において、中学生が持続可能な社会のために何ができるのかを考えました。

Unit 4の単元において、宮城県内における身近な社会問題の背景(要因)をグループで調査しました。問題の解決を目指し、新たに標識をデザインするという活動を行いました。フードロスやポイ捨てなどの社会問題を取り上げるグループが多く、環境問題に対する高い意識を感じました。ポイ捨てに関する標識は校内に、フードロスに関する標識は地域のスーパーマーケットに依頼し、掲示しました(図1・2)。

Unit 6において、世界の飢餓や飢饉の実態について学び、フードロスについてのレポートを作成する機会を設けました(図3)。フードロスが地球に及ぼす影響や普段の生活で自分ができる4つの行動について考えました。

また、フードロスに高い関心があることや本校が自校給食であることを踏まえ、残食が少ない献立を考える学習を行いました。栄養士の助言のもと、栄養価のバランスにも配慮しながら、残食ゼロを目指したメニューを考え、義務教育最後の給食で提供する予定です(図4)。

## 3 取組の成果(児童生徒の変容)

ポイ捨てについて調べたグループでは、陸地のごみが海へと流れ着き、海洋汚染を引き起こしていることに気付きました。特に、プラスチック製品が海洋生物へ悪影響を与えていることを知って欲しいという想いを込めて、図2のような標識を制作しました。

フードロスに関するレポートを作成した際には、「1. 買い物に行く前に冷蔵庫を確認する。2. 食料を買いすぎない。3. 好き嫌いをしない。4. 賞味(消費)期限の近いものを使い切る。」などの行動目標を考えていました。また、授業後の感想において、「給食の食べ残し、家庭ゴミ問題、水筒の飲み残しなど、身の回りの自分に関係のあることが多くて自分の一歩で周りも変えたいと思いました。」「外国では人口増加とともに食糧不足が深刻化している。なのに、フードロスをたくさんしている。誰がどう考えてもよくないこと。人と環境のために、そして未来のためにできることはたくさんある。そして日本の『もったいない』という考え方はフードロスを減らすには大切だと思う!!」「フードロスが温暖化につながっているのが知れて驚いた。」などの意見が多数だったことから、生徒のフードロスに対する意識を高めることができたと考えます。また、本学習後、残食を減らそうとする生徒が増え、実際に本学年の残食が減少しました。家庭や地域で中学生が呼び掛けを行い、卒業後も環境問題について関心を持ちながら生活する姿を期待しています。

図1



図2



図3

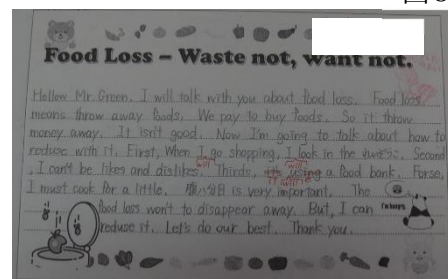


図4

Menu	Calories	Protein	Fat	Calcium	Nutrient	Vitamin A	Vitamin B1	Vitamin B2	Vitamin B6	Iron	Price
Menu 1	1250 kcal	35g	25g	450mg	4000kcal	10000IU	0.5mg	0.5mg	0.5mg	2.5g	100 yen
Menu 2	1100 kcal	30g	20g	400mg	3500kcal	9000IU	0.4mg	0.4mg	0.4mg	2.0g	90 yen
Menu 3	1050 kcal	28g	18g	380mg	3200kcal	8500IU	0.3mg	0.3mg	0.3mg	1.8g	85 yen
Menu 4	1000 kcal	25g	15g	350mg	2800kcal	8000IU	0.2mg	0.2mg	0.2mg	1.5g	80 yen

# 令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	216	学校名	仙台市立七郷中学校	校長名	熊谷 祐晃
------	-----	-----	-----------	-----	-------

## 1 取組のタイトル, テーマ 地域クリーン作戦



## 2 取組の紹介

令和4年11月29日、全校生徒で地域クリーン作戦を行いました。生徒は、地区生徒会という1～3年生を含む小集団に分かれ、異学年同士の交流の機会になっています。事前に顔合わせをし、地区長や副地区長を決めて、自分の住む地区ごとに公園等の清掃を行います。当日は、地域の方にも参加していただいています。



## 3 取組の成果 (児童生徒の変容)

本校では、協働型学校評価における重点目標として「『美しい七郷を創造する』ために具体的に考え、協力し、行動できる生徒の育成」を掲げ、ABC作戦(Aあいさつ、B美化活動、C地域貢献)に取り組んでいます。生徒が主体となった活動に地域の方々の協力が加わることで、自分が住む地域に愛着を持ち、地域の一員としての自覚が生まれると考えます。コロナ禍において、地域の方や異学年同士と関わる機会は減っています。クリーン清掃が地域の方や先輩・後輩と関わる貴重な機会となっています。

令和4年度 杜の都エコ・スクール活動報告書

学校番号	17	学校名	仙台市立高砂中学校	校長名	猪股 一博
------	----	-----	-----------	-----	-------

【活動の概要】

【 震災からの復興。そして、未来をみつめて 】



◆全校での取組

活動内容：定期的に校地内緑化活動を行っています。また、震災後より毎年、夏と冬に多数の園芸関係の皆様との協力をいただき、校舎前の花壇の植栽を行っています。毎回、植栽当日は部活動の生徒、保護者など100名以上が参加して活動しています。植栽の際の肥料には「杜のめぐみ」を活用しています。

夏の植栽活動の様子 < 7月2日(土) >



今年度の夏の花植活動では、講師の先生方に参加していただき、一緒に植栽活動を行いました。生徒たちは、講師の方々にアドバイスをいただきながら、ヒマワリやコキアなどを各々の思いのままに並べて植え、鮮やかな花壇を作り上げました。

冬の植栽活動の様子 < 12月3日(土) >



冬の花植活動では、講師の先生方にアドバイスをいただきながら、葉牡丹やパンジーなどの花に加え、多くのチューリップの球根を植えました。春になると多くのチューリップが並べた形に一斉に発芽し、花壇が鮮やかになります。

◆生徒会での取組

<JRC・防災委員会>

日 時：毎週水曜日 7：45～

活動内容：定期的に校地内清掃を行っています。

その他：今年度は書き損じはがきの回収を行いました。

◆取組の成果

夏の植栽活動では花壇の土の状態を管理し、高砂中生有志で協力して校地整備に取り組みました。冬の植栽活動では翌年4月に入学してくる新入生のために花道を飾ることを目的として取り組みました。そのため、生徒の「後輩のための活動」や「支援に対する感謝の気持ち」という気持ちが芽生えるきっかけとしての活動になっています。また、縦割りの活動を行うことで、各部活動や高砂中生の連帯感を醸成する活動となりました。





# 令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	218	学校名	仙台市立岩切中学校	校長名	糸谷 俊哉
------	-----	-----	-----------	-----	-------

## 1 取組のタイトル, テーマ

～ちょボラ隊・委員会活動を中心としたボランティア活動～



## 2 取組の紹介

本校では、年間を通じて継続的に学校・地域への奉仕活動を行っています。

「ちょボラ」とは「ちょっとしたボランティア」の略称で、年度初めに希望者を募って組織されます。また、生徒会、各委員会、部活動とも連携して様々な活動を行っています。

その一つを紹介します。

例年、総合文化部の生徒が、山火事防止のため看板を制作します。総合文化部の生徒と「ちょボラ」隊の生徒たちが「県民の森」に『防火看板』を設置するところまで行いました。

## 3 取組の成果 (児童生徒の変容)



新型コロナウイルス感染症の影響により、今までのような活動に制限がかかり、活動自体を縮小して実施する中で、生徒たちは、自分たちが今できることを考えて活動しました。

また、活動をとおして、人との関わりや自然に向き合う中で、公共のものを大切に扱ったり、挨拶を自発的にしたりする生徒が増えつつあります。

そのほかにも、家庭科の授業の中で SDGsの内容を学び、自分たちや地域での生活に生かせるようになっていきます。今後も、地域・学校に貢献できるような活動を、継続的に進めていきたいと考えています。

# 令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	219	学校名	仙台市立西多賀中学校	校長名	木下 裕士
------	-----	-----	------------	-----	-------

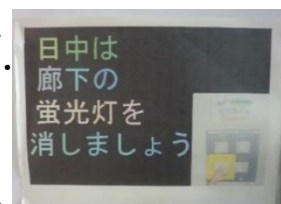
## 1 取組のテーマ

日常生活における主体的な取組を通して

## 2 取組の紹介

### ① 省エネ活動

本校では、以前から省エネ活動に積極的に取り組んできました。移動教室の際の照明の消し忘れに注意し、無駄遣いを省いています。また、廊下や使用していない教室・トイレの照明は必要なときのみ点灯し、電力使用量の削減に努めてきました。節電の意識が次第に定着してきていますが、時々消し忘れがあるので、今後も担任や委員会の生徒から呼び掛けを行い、継続して省エネ活動に力を入れていこうと考えています。



### ② 地域クリーン活動

本校では、地域連携・小中連携の取組の一環として10月27日、11月5日に地域の落ち葉拾いを行いました。三神峯公園や天沼公園の落ち葉を袋いっぱいにつくことができ、自分たちの住む町のより良い環境づくりに貢献することの大切さを実感することができました。



### ③ 整備委員会の取組（古紙・ゴミの分別回収活動）

本校では整備委員を中心に、教室内で出る古紙の回収とゴミの分別を行っています。古紙の回収については、各クラスにプリントの残部などの紙類を集める古紙回収ボックスと、プラゴミと一般ゴミを分別する2種類のゴミ箱をそれぞれ用意し、資源の再利用に役立てています。各クラスの整備委員が、定期的に古紙回収ボックスにたまった古紙を分類し集約を行っているため、たくさんの古紙がリサイクル資源に活用されるようになってきました。さらに、再利用できない紙は白い印刷用紙、それ以外の紙、リーフレットやパンフレット等の印刷物の3種類に分別しています。これを職員室前の整理棚に集約し、古紙回収に努めています。プラゴミの分別は、給食の後片付けの際、定期的に声掛けして実施しているため、大変意識が高まりました。プラゴミと紙類を分別することで、一般ゴミの減量化が確実に進んでいます。



### ④ 給食委員会の取組（掲示物・放送などによる広報活動）

今年度、給食委員会では特に「食に対する意識の向上」を目指して、様々な取組を行ってきました。「食材」や「身体作り」、「旬の食べ物」等のテーマに沿ったポスターを季節や行事に合わせて定期的に作成させたことで、食に対する興味関心を高め、深く考えさせることができました。このような活動を継続的に行っていくことで、食材を大切に作る姿勢や感謝の心を育み、食品ロスを減らすことにもつながっていくものと考えています。

## 3 取組の成果（児童生徒の変容）

本校では、「移動教室の際に消灯する」「ゴミ等を分別して捨てる」「地域の環境整備をする」等の姿が日常生活の中で当たり前に見られるようになってきています。このことは、日常生活に目を向けて、身近なところ、ささいなところから取り組んでいくという意識付けを継続して行ってきた成果であると考えます。また、今年度は給食委員会を中心に、「食」について考える機会を多く持ちました。アンケートの結果から、取組を行う前と行った後とでは生徒の意識に変化が見られ、日常の取組の積み重ねが、様々な角度から環境について考えるきっかけになることを実感しました。今後も自分たちにできることを見つけて率先して行動できるよう、継続して活動を行っていきたいと思います。また、日々の各授業の中でも環境について触れる機会を持ち、環境問題について真剣に考える姿勢を横断的に育成させることができるように努めていきたいと思います。

# 令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	220	学校名	仙台市立生出中学校	校長名	大倉 秀之
------	-----	-----	-----------	-----	-------

- 1 取組のタイトル, テーマ  
「身近なところから少しずつ」



## 2 取組の紹介

### (1) 花壇の整備

年に2回、昇降口前にある花壇に花の植え替えを行いました。今年度は春にマリーゴールド、ブルーサルビア、秋に葉ボタン、パンジーを植えました。保健環境委員を中心に、年間をとおして花の水やりを行いました。それぞれが責任を持ち取り組むことで、きれいな花壇の維持を心掛けました。



### (2) 農作物の栽培

学校の畑で野菜や果物を栽培しました。土をならす作業から始まり、玉葱や大根、さつまいもや苆などの苗を植えました。農作物の水やりはもちろんのこと、わき芽取りや成長の段階に合わせ支柱立て、雑草取りなどを行うことにより、おいしくて立派な農作物ができました。そして栽培した野菜は収穫し調理実習でおいしくいただきました。



### (3) モニュメント作り

あおば学級(特別支援学級)において、自分で育てた植物や校庭にある身近な植物を材料にしたモニュメント作りを行いました。

〈さつまいものツルで作るクリスマスリース〉

- ・さつまいものツル→あおば学級の畑で育てたもの
- ・どんぐり, 椿の実→校庭にあるものを着色したもの
- ・長い松ぼっくり→校庭にある“トウヒ”を着色したもの



## 3 取組の成果 (児童生徒の変容)

- ・花壇の整備や農作物の栽培をとおして、植物を大切に育てようとする態度と環境美化意識向上を図ることができました。特に登下校で目にする花から、四季の変化を感じ、それらの意識は委員だけではなく多くの生徒たちの意識を高めることにつながりました。
- ・身近な材料から作り、先生方などにプレゼントすることで、他者の存在を感じ、相手の気持ちを理解することにつながりました。また一から創作し、一つ一つに工夫を凝らすことで作業学習への意欲付けともなりました。